

珠 洲 市

～古から受け継がれてきた里山里海の営みの再生～



能登半島の先端に位置する珠洲市は、今なお美しい里山里海が保たれており、珠洲市を含む「能登の里山里海」が、2011年6月に日本で初めて世界農業遺産(GIAHS)に認定されました。

この世界農業遺産認定を背景に、農薬や化学肥料を通常の使用の5割以上減らした特別栽培米に取り組み、能登の自然や美しい水田景観の維持・保全、将来にわたり持続可能な水田農業の振興に向け、生産者・関係団体が一丸となり取り組んでいます。

先般、環境省で開催された「トキ野生復帰検討会」において、石川県及び能登9市町におけるこれまでの取り組み状況が評価され、令和8年度上半期中を目途に能登地域においてトキの放鳥を実施することが決定されました。

環境にやさしい技術の定着、消費者ニーズに対応した安全・安心な米づくりなど「環境と調和した米づくり」を推進するとともに、引退競走馬の利活用事業による有機堆肥の開発に取り組みながら、自然と共生する持続可能なまちづくりを目指すため、ここに、「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和7年4月28日

珠洲市長 泉 谷 満寿松

